

健全な財政運営を行いました

本宮市の平成 29 年度各会計の決算がまとまりました。皆さんが納めた税金がどのように使われたのかをお知らせします。

問 財政課 財政係 ☎ 24-5305

歳入総額	歳出総額
246 億 7,614 万円	238 億 5,924 万円
国・県支出金 132 億 364 万円 (53.5%)	歳入歳出差引額 8 億 1,690 万円
市税 41 億 6,426 万円 (16.9%)	衛生費 118 億 2,357 万円 (49.5%)
地方交付税 31 億 8,189 万円 (12.9%)	民生費 39 億 5,105 万円 (16.6%)
繰入金・繰越金など 23 億 3,317 万円 (9.4%)	総務費 18 億 5,700 万円 (7.8%)
市債 9 億 3,290 万円 (3.8%)	教育費 14 億 6,025 万円 (6.1%)
地方譲与税など 8 億 6,028 万円 (3.5%)	公債費 13 億 8,824 万円 (5.8%)
	土木費 13 億 3,161 万円 (5.6%)
	議会費・労働費・農林水産業費・ 商工費・消防費・災害復旧費 20 億 4,752 万円 (8.6%)

平成 29 年度一般会計の決算額は、歳入総額が 246 億 7614 万円、歳出総額が 238 億 5924 万円、歳入から歳出を差し引いた収支は 8 億 1690 万円の黒字となりました。ここから 30 年度へ繰り越した事業の財源 1 億 514 万円を差し引いた実質収支額は、7 億 1176 万円となり、黒字決算となっています。予算の執行にあたっては、本宮市自らの財政健全化計画を遵守し、限られた財源の重点的・効率的な配分を行い、健全な財政運営に努めました。

一般会計 — 8 億 1690 万円の黒字 —

市民 1 人当たりに換算すると？
1 人当たりに使われたお金

78 万 1,758 円

※一般会計の歳出総額を H30.3.31 現在の住民基本台帳の人口 (30,520 人) で除して算出しました。

基金名	平成 29 年度末残高
財政調整基金	14 億 8,858 万円
教育施設等整備事業基金	6 億 2,149 万円
本宮駅東西自由通路等整備基金	3 億 6,264 万円
地域福祉基金	3 億 3,850 万円
長期避難者生活拠点形成基金	2 億 8,137 万円
震災・原子力災害復興基金	1 億 1,102 万円
減債基金	1 億 195 万円
篤志奨学資金給与基金	4,393 万円
五百川駅前広場等整備基金	3,000 万円
その他特定目的基金	4,819 万円
計	34 億 2,767 万円

災害や事業に向けた積立
基金残高

費目	費目の内容	1 人当たりの金額
衛生費	ごみ処理や生活環境を守るための経費(住宅除染含む)	38 万 7,404 円
民生費	高齢者福祉、保育所運営、生活保護費など福祉のための経費	12 万 9,458 円
総務費	一般管理費、徴税費、選挙費など市政を進めるために必要な経費	6 万 845 円
教育費	学校教育・社会教育のための経費	4 万 7,846 円
公債費	市が借りているお金の返済のための経費	4 万 5,486 円
土木費	道路橋りょう、公園整備のための経費	4 万 3,631 円
その他	商工、観光振興や消防団運営、防災対策などのための経費	6 万 7,088 円

企業会計 (水道事業) の決算

経常的な収支	
収入	10 億 1,176 万円
支出	8 億 8,582 万円
投資的な収支	
収入	9,552 万円
支出	5 億 3,354 万円

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	38 億 2,490 万円	35 億 1,286 万円
後期高齢者医療	2 億 8,327 万円	2 億 7,865 万円
介護保険	25 億 5,473 万円	24 億 7,366 万円
公共下水道事業	8 億 4,658 万円	8 億 987 万円
工業用地造成事業	5 億 9,421 万円	5 億 9,407 万円
工業用地資産運用事業	1 億 1,462 万円	1 億 1,462 万円

すべての会計で黒字決算
特別会計

平成29年度末残高

市債残高	236億9,107万円
債務負担行為残高	25億2,145万円
合計	262億1,252万円
	(前年度比16億1,780万円減額)

市民1人当たりで換算すると？

86万円

(前年度比5万円減額)

※一般会計の歳出総額をH30.3.31現在の住民基本台帳の人口(30,520人)で除して算出しました。

本宮市の借金は？ — 計画を遵守し償還 —

下図は平成19年度からの借金(市債・債務負担行為)の推移を表したものです。平成19年度に策定した本宮市自主的財政健全化計画に基づき、計画的な市債の発行と債務の償還により、平成19年度には399億円あった借金が、平成29年度には136億8748万円減少し、262億1252万円となりました。今後も計画を遵守し適正な市債の発行、償還を行っていきます。

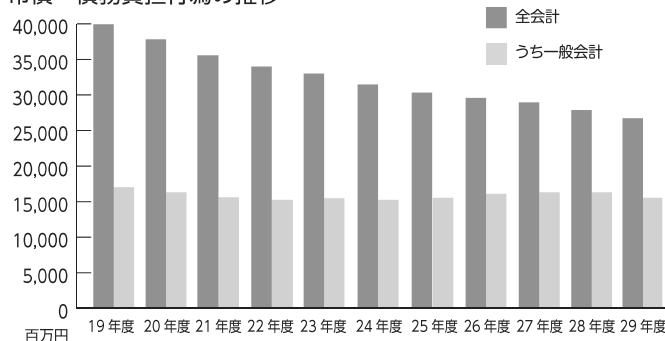
平成29年度末 現在高一覧

項目	元金	利子	合計
会計			
一般会計	150億8,881万円	5億7,664万円	156億6,545万円
地方債	149億9,929万円	5億7,560万円	155億7,489万円
債務負担行為	8,952万円	104万円	9,056万円
公共下水道事業	44億7,912万円	4億2,515万円	49億427万円
工業用地造成事業	23億3,677万円	9,412万円	24億3,089万円
水道事業	28億1,128万円	4億63万円	32億1,191万円
合計	247億1,598万円	14億9,654万円	262億1,252万円

実質赤字比率 一般会計に赤字がどの程度あるかを表します。 該当なし	連結実績赤字比率 一般会計と特別会計・公益企業会計のすべての会計の赤字がどれくらいあるかを表します。 該当なし
実質公債費比率 市の財政運営に影響するすべての会計の借入金の返済に充てた経費がどれくらいあるかを表します。 8.3%	将来負担比率 市の財政運営に影響するすべての会計の借入金の返済、退職手当など将来に負担が見込まれる経費がどれくらいあるかを表します。 77.4%

財政判断4つの指標
— 全て基準値を下回る —

市債・債務負担行為の推移



平成29年度の主な事業

東日本大震災・原子力災害からの復旧・復興へ向けて

住宅除染事業	108億7,020万円
農地除染事業	9,693万円
放射線健康管理対策事業	3,446万円
保育所・学校給食放射性物質検査事業	1,568万円

豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくり

本宮第二中学校環境整備事業	1億3,391万円
小中学校振興教材整備事業	2,462万円
国際交流事業	1,122万円
公民館整備事業(高木地区)	958万円

市民と行政の協働による自立したまちづくり

行政区支援事業	3,369万円
集会所整備・管理支援事業	483万円
本宮市PR事業	282万円
未来へつなげる市民の集い事業	218万円

共に支えあう やさしいまちづくり

児童手当支給事業	5億3,239万円
多世代交流施設整備事業	2億348万円
子ども医療費助成事業	1億6,334万円
放課後児童健全育成事業	5,546万円
記念樹の杜屋外遊び場整備事業	5,413万円

活力あるふるさとのまちづくり

森林保全事業	8,026万円
商工業経営金融支援事業	6,799万円
たい肥助成交付金事業	2,564万円
観光関係団体運営支援事業	2,137万円
県営ため池整備事業	1,497万円

安全・安心な環境のまちづくり

本宮駅周辺東西アクセス整備事業	2億6,814万円
まちづくり道路整備事業	5,004万円
大山・松沢線整備事業	4,699万円
もとみや定住促進事業	3,802万円
五百川駅前広場整備事業	3,030万円